

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	加須市立大桑小学校・大桑幼稚園 第 1 回学校・幼稚園評議員会議
開催日時	令和 6 年 6 月 21 日（金） 10：00～（所要 1 時間 30 分）
開催場所	加須市立大桑小学校 校長室
議長氏名	
出席委員	倉田 茂 、 加納 静子 、 杉田 貴洋 、 佐藤 智美
欠席委員	なし
会議次第	1 委嘱状交付 2 今年度の学校・幼稚園経営について 3 教室参観 4 情報交換
会議資料の名称	第 1 回学校・幼稚園評議員会議
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0 人
説明者の職・氏名	校長・園長 二階堂 朝光
事務局職員の 職・氏名	教 頭 萩原 健司 副 園 長 飯田 宏美 主幹教諭 新井 宏美
会議録の作成方法	☐ 要点記録 ☒ 全文記録
その他必要な事項	

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
教頭	1 開会のことば ただいまより、第 1 回大桑小学校・大桑幼稚園評議員会議を始めます。司会を担当します、大桑小学校教頭、萩原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 この評議員会議は市の規定に基づきまして公開ということになっております。つきましては、学校のホームページでも開催について周知をさせていただきました。この会議につきましても記録を取らせていただき、会議録という形で市に報告をし、ホームページにも公開をさせていただくことになりますのでご了承いただきたく存じます。なお、個人情報に関わる案件につきましては 一部非公開とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
校長	2 あいさつ 今年度より大桑小学校長・大桑幼稚園長を務めることになりました、二階堂でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 来年度は 加須市もいよいよすべての学校でコミュニティスクールに移行するというので、学校運営協議会を全ての学校で行うということになっております。ご承知の通り現在は、東部 5 校ということで 加須平成中学校・加須東中学校を中心に、小学校・中学校合わせて 5 校の学校が連携してリンクミーティングということで、お世話になっております。私は他の地域から異動してきましたけれども、かなり強力に連携して進められていると感じております。そのことも含めて、ご指導いただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
校長	3 委嘱状交付 (校長より一人一人に委嘱状を手交)
校長	4 今年度の学校・幼稚園経営について まずは、大桑小学校から申し上げます。本校は令和 5 年度、6 年度に加須市教育委員会の研究委嘱を受けまして、来年 1 月 30 日に発表を控えております。これからの学校教育では、個別最適化な学びと協働的な学びを一体的に行うということが求められています。日本は今まで一斉授業ということでかなりの成果を上げ

てきました。基礎基本は世界トップレベルです。しかし、大学になると学力低下してしまう、それは何かというと、個別最適な学びという点では、自主性や主体性を妨げているともいえるからです。文科省も学習の個別最適化の流れの中で、一斉授業の大切な部分は残しつつ推進していく、とされています。本校はその部分について、先進的に研究をしています。

そのためには、児童を育てる学校から、児童が育つ学校へという意識の改革が必要なのではないかと考え、目指す学校像を設定しました。児童を育てるという視点は、もちろん大事ですが、それをしながらも子供たちの主体的な学びを個別最適な学びに生かしていくことが本校の研究の一番大事な肝の部分になるということで目指す学校像については「児童を育てる学校から児童が育つ学校」へという風に大きく変えてみました。

私も着任して、研究主任から「校長先生は昭和の教育をまだやっている」と指摘を受けました。そこで、「大桑小学校が今研究で目指しているのはどういうことなのか」と聞くと、子供たちが自ら学べるような雰囲気であったり、指導するような内容じゃなくて子供たちが主体的に学べる方法だったりをこの学校は目指しているということでした。実際に研究主任に本校の目指す授業をやってもらいました。また、着任してから2か月経ちますのでそれぞれの学級でどういう風に進めているのかという研究授業をいろいろ見ながら、なるほどこれが令和の教育なのだな、大桑小学校はそういうことを目指しているのだなということがよく分かり、自分の中でストンと落ちました。ただなかなか、我々も今まで染み付いた学校ってこういう勉強するところだよなという、それぞれの学び取ってきた意識や感覚が残っているので、その意識を改革するのは難しい部分もあります。どうしても、教員は教え込まれたいという気持ちがありますし、自分も教え込まれてきたという経験があるので、非常に難しいのかなと思いつつも、1月30日にしっかりとした発表ができましたら、これはもう加須市の中では先進的なリーディングスクールになるのではないかとこの風に私は確信をしていますし、そのぐらい新しいことに取り組んでいるという風に思っています。

幼稚園につきましては、幼稚園長という立場は初めてですが、加須市の特徴として、小学校と幼稚園が併設であり、小学校長が兼務園長というものがあります。埼玉県内で一番早くできた公立

	幼稚園が加須幼稚園ということで、加須市は昔から幼児教育には力を入れています。その中でも大桑幼稚園はまだまだ規模が大きい幼稚園で、その幼稚園の兼務園長ができたってことは本当に誇りに思います。幼稚園の子たちの興味関心って言うのでしょうか、その主体的に学ぶという姿は幼ければ幼いほどその好奇心を生かすことが効果的なのかなって言うふうに思っています。幼稚園は「遊びを通して学ぶ」ということで、小学校教育と若干異なる部分がありますが、いずれにしても主体性を伸ばしながら子供たちを伸ばしていきたいという理念については小学校・幼稚園共通に思っている次第であります。ただ、ご案内の通り、団塊の世代が教員の職を退職して、若手が多く入ってきています。平均年齢も30代前半ということで、経験が浅い教員が多いです。学年主任クラスもやはりベテランというよりは中堅・若手が多いので色々な課題を抱えています。子供たちのちょっとしたトラブルで色々悩んだりする教員もおります。管理職の方も私は普通ですが、教頭含め、かなり若い世代が入ってきて、管理職の指導力という部分でも課題が見られる学校が多いです。本校に関しましても同じような傾向は見られます。今、どこの学校も若手の育成・教員の育成とそれに伴う学力向上ということが課題になっています。教員は若い分、意識が変えやすい部分もありますので、教員の育成という部分でも、努めています。 また、幼稚園長としても頻繁に足を運び、幼稚園で顔を見て挨拶をするようにしています。朝、挨拶をすることで、幼稚園では保護者との関わりを大事にしています。 着任して間もないので分からないことが多く、説明不足の点もあるかと思いますが、私の気持ちは今述べたとおりです。
副園長	園長が、朝、保育室の方までやってきてくれて、私たち職員はとても安心して仕事ができます。そして、すぐ壊れたものとかも直してくださり、私たちの心のケアも含めてとても見てくださっています。この後、幼稚園の参観をしていただきますが、子供たちの育ちの様子、作品などもご覧いただければと思います。どうぞお願いいたします。
教頭	大桑小学校2年目となりました、教頭の萩原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。大桑小学校は、先ほど校長も申しましたとおり、かなり先進的な研究をしているというところもあ

	ります。学校運営に関しましては、私自身まだまだ勉強中の身なので色々と校長先生にご指導いただきながら、日々業務をやらせていただいているところです。子供たちはとても素直で元気な子供たちが多いです。ただ、その分ちょっとした人間関係のトラブルなども多く見られます。そういう部分を丁寧に、担任と一緒に解決していけるように努めているところでございます。まだまだ力不足ですけれどもどうぞよろしくお願いいたします。
	5 保育・授業参観 (幼稚園、小学校の順に教室参観)
倉田	6 情報交換・質疑応答 私は中学校の評議員もやっています。むこうは静かですが、幼稚園が活発でした。年長さんを見てから、1年生を見たら、大人だと感じました。たった数か月で変わるのですね。ICTを活用した授業、日々情報を収集しながら勉強していると思うので大変でしょうけど頑張ってやっていただき、本当に大変良かったと思います。
校長	個別に学習をしている様子もご覧いただきましたが、それぞれがそれぞれの学び方でやっています。前の方に机を並べていた子供たちは先生に教えてもらうなどしています。また、例えば学習用端末を活用して動画を見たりサイトを見たりなどニーズに応じて自分のあった学び方で学習を進めています。去年から研究を進めてきていますので、中学校とは大分雰囲気違ったかもしれません。ICTに関しては、私も担当していたことがあります。私の卒論は「CAI」と言って「コンピューター アシステッドインストラクション」と、ちょっと古いのですが、コンピューターと対話しながら学習を構成していくということを研究していました。専門でやっていた部分でもありますので、現在も先進的に ICT を活用しておりますが、今後さらに推し進めていきたいと思っています。ありがとうございました。
加納	幼稚園では、1年1年成長がよくわかり、年長は先生の話をよく聞けるようにしつけていっていると思いました。1年生はいっぱい児童がいて、34名は大変だろうと思いますが、生き生きと学

	習していました。個別最適な学び、何年生くらいからやっていくのでしょうか。6年生では、自分の方法で教え合う人、自分で学ぶ人様々な方法で学習していました。自分自身で、課題をしっかりとつかまないと、目標に達成できないので、教員も計画しておかないと、ただまかせるということもできないので、難しいと思いました。1月30日が楽しみです。校長先生からも意欲付けをたくさんしてくれて、頭が下がります。子供たちは一度意欲が高まるとすごい力を発揮してくれると思います。 質問ですが、今後、鼓笛はどうなるのでしょうか。
校長	計画的解消という形をとっていきます。今後は、クラブ活動で鼓笛をやっていく予定です。意欲のある子たちはクラブに所属して続けていきます。運動会で、全校体制で取り組むのではなく、大桑フェスティバルの時に発表の機会を作ろうということで、クラブの発表会としてそこで残していく予定です。数年前から計画されて決まっているため、今年は経過を見届けながら計画的に進めていきたいと思っています。
杉田	幼稚園は子供たちがいきいきしていて楽しそうでした。みんなが積極的に授業に参加していました。一学年ごとに成長がよくわかりました。一番上の学年が少し言うこと聞かなくなるのも成長だと考えます。小学校1年生も成長しています。また、授業の形態が昔と全然違うのを感じました。先生が話したことを聞いているだけではなく、静かな教室でも、問題問いている子もいれば、学習用端末を使っている子もいる。昨年グループに加われなかった子が加わっていた。それも成長のひとつだと思っています。これは自分で解決策を見つけられて変わっていったのだと思います。これからの次代はコミュニケーションもすごく大事になってくると思うのでいいなって思いました。ありがとうございます。
校長	1人1人、学ぶ方法も変わってきています。問題や課題によって、この問題については友達と一緒に共同しながらやった方がいいのかな、などいろんなことを経験してきています。色々なことを経験したり、その学び方に慣れてきたりしたのかもしれないです。協働ということは、答えのないようなものに対してアプローチしていくことにも直結することだと思っています。なんでもそ

	の教えてもらうとか指導されるという事よりもより主体的に行動できるようにしていきたいです。
佐藤	幼稚園では、今年から園長先生があいさつしてくれている。自分の子を見ていても成長が感じられます。小学校では、全体的に一生懸命にやっていたと思います。令和の教育として、学習用端末などを使って学んでいたことに驚きました。高学年は使いこなせていました。家ではいじらせたくないということで控えさせていますが、今のうちから身につけさせるのもいいのかと思いました。小学校へ上がることへの不安がありましたが、朝、園長先生が出てくれていることによって、不安感も減るのではないかと思います。
校長	小学校に入学しても、「園長先生」という子が多いです。親しみを込めて言ってくれているのだらうと思います。この光景は加須ならではの感覚です。校長と園長が一緒だから、大桑小へ入学するなら大桑幼稚園に行かせたいという保護者を増やしたいです。小学校と幼稚園が連携できるようにいろいろ心がけているのですが、ここはもう正直行事がダブルなのでここでちゃんと連携してくれると行事がかぶらずにあっちにも顔出せて、となるので、課題だと感じています。また、学校規模が大きいので学年で行事が入ることがあり、一日に複数行事が入っていることもあり、様々なことに顔を出したいけど出せないことが続いています。また、若手・中堅クラスの教員が交流できるともっといいと感じています。園長・校長だけじゃなくて、その学校中ももっと連携できるようにしたいなって思っていますのでその辺は是非期待していただいて 色々ご意見を伺えると助かります。
校長	学制が施行されて早いところはだいたい開校 150 周年ですが、チョークと黒板で子供に一斉授業という文化は変わっていません。それを今打開しようっていう風に思っています。おりしも、GIGA スクール構想ということで、1 人 1 台端末が入ってきました。デジタル教科書を使った授業もありましたが、もうそのパソコンの中だけで完結してしまう授業もできます。今子供たちにも デジタル教科書から使えるようになっているので、ノートも今までは例えば写すとか印刷してコピーを貼るとかってことがありました

が、今はデジタル上でノートが作れます。それを手書きで書く子もいれば、打ち込んでノートにする子もいる時代になっています。150年経って革命が起きていると思います。産業革命じゃなくて教育革命です。今、我々の出張もオンラインでやるようになってきます。ただ気をつけなきゃいけないのは、子供たちがさっきパソコン触らせるのをどうしようかという話題もありましたが、正直色々なトラブルは起きている。配布した学習用端末にはフィルタリングがちゃんとかかっていますので有害なサイトには繋がらないとかLINEはできないとか対策はあります。ただ、ついこのあいだ本校でも先進しているがために起こった事例だと思うのですが、テキストに共有がかけられて、文書を一緒に編集できるようになります。それで交換日記をやっている子がいました。交換日記は、昔からそうですが、その後には秘密の共有、最後には悪口になります。それが、共有ドキュメントを活用して行われていました。情報が見つかったので、指導したのですが、要するに、我々も想定できていないようなことで、トラブルが起きてくることがあります。だからといって、使わせないのではなくて、きちんとルールを決めた上で、予測できないことも起こり得るという想定のもと、活用させる必要があるのかなと感じています。やらせないのが一番危険からは遠ざけますが、将来は危険な世界に飛び込まなきゃいけなくなってくるのでそれをどのように経験させるかというのはある程度仕組んでいかなきゃいけないのかなと思っています。まだまだ子供たちがきちんと言うことが聞ける段階でルールをきちんと決めていろいろやっていくことが大切だと思います。フィルタリングだけでなく、スマホに例えば何時から何時までしか使えないというような制限をかけたり、あとはwi-fiのルーターにきちんとつながらない場所だとか時間だとか設定できたりするようなものもあります。ただ、それも解除されることもあります。秀逸なのは保護者には「解除しましたよ」という通知も来るのでわかるものがあります。親としては、こんなことができるようになったのだと、半面嬉しいようなところもあります。子供たちは親の目を盗んでいろんなことをやって、外の世界へ踏み出していくのも大事なことです。色々成長を見守っていくということではもうちょっと俯瞰していろんなことができるといいのかなと私は思っています。そんなこともあるのでそれぞれ家庭の事情に合わせて運用していただくと

教頭	というのが大事かなと思っています。新しい教員はオンラインで集まらなくても研修ができるようになっていきます。集まらなくて楽になったね、なんていうのもあるかもしれないですけど逆に、集まって研修をやるよさもあります。若い教員は、コミュニケーションとして同期で集まって飲み会で打ち上げをやるということも全くない世代だったりもします。高校・大学の授業がずっとオンラインだったという世代が入ってきているということを頭の片隅に置きながら その教員としての資質を高めていかなければならない時代になってきています。今後とも大桑小学校と幼稚園を温かく見守っていただければと思います。これからもよろしくお願いします。 7 閉会の言葉 ありがとうございました。本日はご多用の中、足を運んでいただきましてありがとうございました。年度内は残り 2 回学校評議員会議を予定しております。第 2 回 を 11 月 25 日 第 3 回を 2 月 17 日ということで予定をしておりますので ご承知おきいただきますようよろしくお願いいたします。 また 近くなりましたら ご案内文をご送付させていただきたいと思っております。ご予約をできる限り空けていただけますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。では以上で令和 6 年度第 1 回大桑小学校・幼稚園評議員会議を終了とさせていただきます 本日はどうもありがとうございました。
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和 6 年 6 月 2 1 日 署名 <u>教頭 萩原 健司</u>	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。